

北イタリア安全対策情報（2015年10月～12月）

1 社会・治安情勢

11月のパリ連続テロ事件を受け、観光地を多く抱える当地では警戒が厳重に行われている。ただし、治安当局は具体的なテロの脅威はないと発表している。

また、当地警察は、インターネット上でテロの扇動を行った者等を逮捕、国外退去処分する等し、テロ対策に取り組んでいる。

ミラノでは、10月末まで開催していた万博期間中、街頭活動にあたる警察官を増員していたため、各種犯罪の発生件数が減少していると発表されているが、日本人旅行者や出張者らから当館に届けられた被害届の件数は例年と同程度であった。特にミラノ中央駅、国際見本市会場及びヴェネツィアの水バス内などにおいて、スリや置き引きなどによる現金及び旅券の盗難被害が多数発生している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪の傾向

ミラノ周辺の観光地、ターミナル駅及び列車内における盗難被害が多く発生している。また、12月には、中央駅周辺において警察官を装った者に所持品検査を求められ、その際に現金等を盗まれる被害も発生している。

(2) 邦人被害事案

当館ホームページ「日本人の被害状況」参照

(3) 邦人以外の被害事案

ア 強盗・恐喝

- (ア) 10月4日、ミラノのデルガノで薬局に押し入った男がレジから現金を奪い、逃走する強盗事件が発生した。
- (イ) 10月4日、ミラノのブリグニー大通りでスマートフォンをナイフで脅し取った男がGPS機能による追跡捜査により逮捕された。
- (ウ) 10月16日、ミラノ近郊で複数の強盗事件を行っていた犯人らが、スイス警察との合同捜査により逮捕された。
- (エ) 10月18日、ミラノのコルドウジオ広場で開かれた日曜市で、古銭を購入したばかりの親子をバンデネーレの自宅近くまで追跡の上、拳銃を発砲して強奪する事件が発生した。
- (オ) 12月5日、ミラノにおいて、サッカー選手が高級腕時計を恐喝された。
- (カ) 12月11日、ミラノのラグランジェ通りで薬局強盗を行った男が自転車で逃走したが、逮捕された。
- (キ) 12月14日、ミラノで現金輸送車を拳銃を所持した男らが襲撃し、約19万ユーロが強奪された。

イ 殺人

- (ア) 10月14日、コモ県カルーゴにおいて著名な建築家が殺害された。
- (イ) 10月30日、ミラノのブッセロにおいて口論の末、男を拳銃で殺害したとして、市警察の警察官が逮捕された。
- (ウ) 12月14日、ミラノ県ピオルテッロにおける発砲事件により1名が死亡、1名が重傷を負った。

ウ その他

- (ア) 10月16日、ミラノのポルタロマーナにおいて、警備員が昏睡させられ、店内のワイン720本が盗まれる窃盗事件が発生した。
- (イ) 11月2日、ミラノにおいて、ファッションモデルの女性が高級腕時計を盗まれそうになり、被害を届出。警察官が申告された人物・着衣の似た男らを職務質問したところ、別人から奪った盗品を持っていたため、逮捕した。
- (ウ) 11月3日、ミラノのアッサーゴに所在するショッピングモールの駐車場において性犯罪が発生し、非番の警察官により男が取り押さえられた。
- (エ) 11月12日、ミラノのサンジミニャーノ通りにおいて、イスラエル人男性が、刃物で切りつけられた。
- (オ) 11月26日、ミラノのランブラーテにおいて覚醒剤の密売人2人が逮捕された。
- (カ) 12月4日ミラノのメチェナーテ通りにおいて、密売目的で大麻360キロを所持していた男2名が逮捕された。
- (キ) 12月11日、ミラノ中央駅において、小型スーツケースにコカイン7キロを隠匿し、ニースから密輸した女が逮捕された。
- (ク) 12月24日晚、ミラノのアベッツァーナ通りのパールのにおいて、酔っ払った男が客の女性を触るなどし、逮捕された。
- (ケ) 12月25日、ミラノ中央駅近くの路上で、警察官を装った男らが旅行者から所持品検査と称して財布を提示させ、現金がないとみるや高級腕時計を確認のためと称して持ち去った。

3 テロ・爆弾事件発生状況

特になし

4 誘拐・脅迫事件発生状況

(1) 邦人被害事案

なし

(2) 邦人以外の被害事案

なし

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし